

## 閑上地区まちづくり協議会 世話役会(179) 議事録

日 時	令和元年12月4日(火) 18:30~21:00
場 所	閑上公民館会議室(2階)
出席者	■針生勉 ■今野義正 □阿部ひで ■今野慎介 ■南部比呂志 ■宇佐美久夫 ■千葉洋子 □出雲隆 (事務局)UDW豊嶋、コンサルタント3名
オブザーバー	市職員 震災復興部2名
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. 新たな閑上の発展に向けて 3. プロセスの伝承について 4. その他
資 料	資料-0 次第、第178回世話役会議事録案 資料-1 新たな閑上の発展に向けて 検討の進め方 資料-2 暮らし再興の歩み 対話イベント企画 資料-3 広島に学ぶ「伝承者を育てる」(宇佐美)

### ○ 協議要旨

#### 0. 事前確認について

##### <議事録確認>

- ・第178回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。

#### 1. 情報共有

##### <前回からの動き>

- ・11/28 当事者による復興省察研究会に針生、宇佐美が出席し報告があった。
- ・11/30 閑上西地区住民懇親会の報告があった。

##### <今後の予定>

- ・12/15 クリスマス会、12/17 老人ホームの説明会のお知らせがあった。
- ・12/16 閑上港北線の開通。

#### 2. 新たな閑上の発展に向けて

- ・資料を基に議論した。

#### 3. プロセス伝承について

- ・企画について議論した。

#### 4. その他

- ・仙台高専のキッチンカーについて、協力していくという話があった。

## <次回世話役会>

- ・次回世話役会は12月17日(火)とする。

次回予定:世話役会(180)12/17(火)18:30～ 関上中央公民館会議室

以下、世話役会の主な意見について記載する。

## 0. 事前確認

資料-0 第178回世話役会議事録案

### <議事録の確認>

- ・第178回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。
- ・P4の7行目、「菜」を修正。
- ・P5の(事務局)のカッコが赤い。

## 1. 情報共有

### <世話役の情報提供>

- ・11/28 復興省察研究会が開催され、針生と宇佐美が出席した。10時から会場は石巻復興支援センターで行われ、参加者は宮城連携復興センターから2名、講師が兵庫県立大学防災教育センターの宮本先生、一般者7名、計10名が参加した。復旧・復興を顧みる。地区毎の記録集を作って残している地区がある。例えば避難所に2000人いるが、物資が800人分しかない。配るのか配らないのかという判断や、なぜそのような判断をしたのかをカードにして、それぞれの立場で考えてもらう。プロセスの評価をする。(針生)
  - ・クロスロードカードは佐藤翔助先生がやっている。独自の視点でやってみたらいいと思った。失敗例をいっぱいあげてカードを作成して、伝承をかねる。(宇佐美)
  - ・クイズ形式にすると、実体験を学べると思った。様々な方々に参加して欲しいと思った。(針生)
  - ・次回関上でという話もあった。1月くらい。(宇佐美)
  - ・参加者は南が関上、北が気仙沼なので間をとって石巻だったが、各所をまわるやり方もあるなど話があった。(針生)
  - ・震災から9年たち、このような話題が増えてきたので、形は違うがどうしたら伝承できるかという話を聞いてきた。(広島に学ぶ「伝承を育てる」参照)(宇佐美)
- ⇒クロスロードカードは緊急時の対応に限定されていて、単純に判断できるような内容になっている。復興になると前提条件が複雑であり、難しくなってくるような気がする。(針生)
- ・成功談の自慢話ではなく、失敗談でどうしたら良かったなど考えていくことをしよう。(宇佐美)
  - ・今年度中に終了予定。
  - ・11/30 西地区住民懇親会が行われ、針生と今野(義)が参加した。夜に開催したのは初めてで、お酒も提供。風が強く寒いなか26名の参加があり、市長も参加した。(市)
  - ・参加費1000円で、16種類のバイキング(やきそば、からあげなど、食べきれないくらい)お土産もあり、盛り上げ隊のリーダー秋葉さんが交流会を振り返りながらご挨拶をして、参加者も穏やかな雰囲気楽しんでた。人数は思いのほか少なかったのですが深い交流会になったのではないかと思います。

います。若い世代の男性を狙っていたが、そこにはいきつかなかった。

- ・当初は「波長合わない」と思ったが、ようやく打ち解けつつあると思った。
- ・数字上、参加者名簿とアンケートが同じ回答数で結果に対する不信感がある。参加者だけ回答なら、ある部分は偏っていると思った。いつものパワフルなお母さんたちが体調不良、怪我で不参加が残念だった。

#### <今後の予定>

- ・12/15 クリスマス会を保育所で開催する。昼間で飲酒はない。子供たちがいっぱいいるので、いい雰囲気になるのではないかと思う。
  - ・特別養護老人ホームが決まり、住民の方向けの説明会を12/17に公民館のホールで14時からと18時から行う。大分県の社会福祉法人 清恵会。代表、区長、上町町内会長、PTA会長に連絡がいく。住民も参加できる。1時間かからない。(市)
- ⇒まち協の開催と一緒にできれば、世話役会前に聞いたらいいと思う。(事務局)
- ・12/16 10時から、閑上港北線が開通する。(市)
  - ・事故が心配なので、公民館の所の交差点では注意喚起が必要だと思う。まだ通学路として認められてないので、朝の通学は無いと思うが、帰りはわからない。(南部)
  - ・安全対策については警察と工事班で打合せはしていると思う。(市)
  - ・新しい道路が開通し、塩釜亘理線の渋滞がひどい。不便になった。
- ⇒仙台市の管理の調整が難しい。交通量から考えれば2車線が普通なのだが。かわまちに降りてくる交通量も増えている。四郎丸方面に行く車が増えた。気をつけないと危ない。(事務局)
- ・中央公園はいつから使えるのか？子供達の遊び場がほしい。12/19に使えると聞いているが？
- ⇒12月末には終わらせるように頑張っている。(市)
- ⇒公園は3月末までに9割以上の完成を目指している。(事務局)
- ・完成時期がわかれば、子供たちにも教えてあげられるので、分かり次第公表して欲しい。
  - ・12/15はアンケートをもとに交流しようと考えている。(市)
  - ・西地区ならば、橋浦製麦の裏の地区はどうなっている？新たに来た人たちは、交流会が行なわれている事を何も知らない。
  - ・交流会は程ほどでいいと思う。大事なのは、新たな自治体を作ること。
  - ・西地区も集会所が出来ないと、集まりにくい。
- ⇒橋浦製麦の裏側は隔離されているように感じる。南側に公園ができた時に、見える場所で何かするのはどうだろう。(事務局)
- ・橋浦製麦の裏側地区でも興味がある人の方が多いので、公園ができた時にいろいろと協力してもらって何かをする。
  - ・例えば公園内の植樹であったり、公園名のプレートを入れるときに、住民も呼ぶなど集まる機会を創出する事が必要と考える。
  - ・行政区の話ですが、東・中央・西で分かれる。それに対して担当を決める方向で話が進むと思う。区画整理エリアでわかる。太子堂は1つの行政区でやる予定となっている。

## 2. 新たな関上の発展に向けて

- ・情報交換会や検討会というのはまちづくり協議会でやるべきなの？

⇒イベントのたびに、各団体のつながりなどで検討していくためにやる。意見交換会をやりながら、その中で検討会を立ち上げる。ある程度の形になったら、役所に提言。集まった人で考えていく。本気で話し合う人を集めないといけない。(事務局)

- ・今年度内にそのような協議の場を設ける必要性について賛同を得られるようにもっていかなければならない。
- ・各団体の意見を聞いて、各団体の立ち位置を考え、関上の地域自治を役所としてもらうような話をしなければならない。
- ・取りまとめの時に、最終的な方向性を出し、各団体が賛同しなければならない。まち協が解散した後も各団体の代表が引き継いでくれるようにしなければならないと思う。
- ・ここからの盛り上げも重要。行政側はお手伝いするのか、相談だけなのか？官民一体でできるのか？今までは市が主体だったので、うまくいっていたが、これからはどういう考え方なのか？

⇒まだわからない。(市)

- ・組織をちゃんとしないと、消滅することになる。
- ・商業者はイベントや儲け話なら興味あるけど、他の事は興味なく何もしないのではないと思う。

⇒商売人のメリットはなく、デメリットが多かった。そういうところも、住民と話し合い気づいてもらわないと話が進まない。(事務局)

- ・サイクルスポーツセンター、トレイルセンターをまとめていけばワンチームになるのではないかと手を取り合って、市にも協力してもらい守っていく。

⇒自立していくのに、必要なかの合意をとればよい。月1の集まりだけなら事務局がなくても大丈夫だと思う。観光や交流を目的にした事業者にとっても地区住民のホスピタリティが無いと地区としての印象を悪くする。(事務局)

- ・折角色々な施設が整備されたので、サビれて施設が無くなって欲しくない。
- ・情報交換会のときに説明できるようなものが必要。
- ・焦ってやると失敗するので、期間を決めて市に事務局代行等の支援をお願いすることはできるのか？
- ・いろんな業種の人に声をかけて、集まってもらう。

⇒復興部が無くなると、どこの課が引き継ぐのかわからない。事務局が話し合いのアドバイス等はやることは出来る。心底、必要だと思えるところまで話し合わないといけないと思う。いい話ばかりではなく、デメリットも理解させておかないといけないと思う。(事務局)

⇒声をかけるのは広くかけた方がいい。最初が肝心でへそを曲げる人が出ないようにしなければならない。(事務局)

- ・3月までに何が重要かを理解してもらえるような段取りをする。

⇒次回、情報交換会の議題を決めることになる。(事務局)

- ・次回の話し合いはこれだけ。

⇒次回は、どういう形で声がけをするのか、主旨を考える。声をかける人など決める。漏れがないように。(事務局)

- ・次回は12/17。世話役の前に説明会に出れる人は出席する。

### 3. プロセスの伝承について

⇒登壇してくれる人を探すための企画書。まず、1つ目をやって2つ目が必要ならやる。進行を宮城復興連携センターの方がやってくれる。場所は講義室ではなく和室。忘れられない出来事を引き出し、復興のプロセスを明文化する。その時に、生活再建の節目や判断材料などのポイントを明確にする。それをベースに今後の材料を残す。(事務局)

- ・現地再建者、閑上に引越しをしてきた方に声をかける。

⇒登壇者を集める理由は、同じところにおいても考え方のずれがあるので、そういった認識のずれが重要。(事務局)

- ・内陸に移転した人は1名参加の同意が取れている。
- ・どのような人が参加するのか？

⇒登壇者はピックアップするが、傍聴人は住民よりは興味がある人。情報の偏りをなくしていこう。

- ・こういう理由で選んだということを明確にする。
- ・世話役は登壇しない方がいい。
- ・登壇者として、誰に声をかけるかを決める。
- ・定住促進の制度によって新たに閑上に住むようになった住民はなし？被災者ではない人。

⇒震災・復興がテーマなので、被災していない人は無し。(事務局)

- ・多少なりとも、話すことに慣れている人のほうがいいと思う。
- ・話し慣れていない人用に、もう少し分かりやすい資料が欲しい。
- ・自己紹介から始まり、被災時どこに住んでいたなど。

### 4. その他

- ・前回の世話役で坂口先生からお話があった、仙台高専のキッチンカーの話。これまでも仙台高専にはお世話になっているので、是非とも協力していく方向で考えて行きます。
- ・議事録、P2の表現が日本語になっていない。

以上

### <次回世話役会>

- ・次回世話役会は12月17日(火)とする。

次回予定:世話役会(180)12/17(火)18:30～ 閑上中央公民館会議室